

## 第2回 道の駅よこはまエリア地方創生拠点 基本計画策定委員会 議事要旨

日時：平成27年12月16日（水）14:00～16:10

場所：横浜町ふれあいセンター 大会議室

### 基本計画（案）について

#### 【インターチェンジの配置について】

- ・道の駅よこはまと（仮）横浜インターチェンジの配置としては、道の駅前面の県道泊陸奥横浜停車場線に接続する「直結案」を基本として今後の検討を進めていく。
- ・「直結案」では、前回提示された案と比較して、サービスエリアのような利用ができる良い案に改善されている。

#### 【道の駅における取組について】

##### レストランについて

- ・レストランで町民による利用を促進するためには、季節ごとのメニューづくり等の工夫が必要でないか。

##### 野菜コーナーについて

- ・野菜コーナーを運営する立場で最も課題なのは、生産者の高齢化、産業の停滞である。辞めていく会員や出荷しない会員が増加しており、会員を増やす施策が求められていると感じる。
- ・野菜は12時には売り切れてしまうため、出荷するときに余った野菜を保管して、補充する等の施策も考えられる。
- ・高齢者が道の駅まで出荷できないことも問題と感じており、対応策を考えなければいけない。

#### 【災害時の対応について】

- ・災害時の対応については、県が主導で行うべきでないか。
- ・災害時には、道の駅エリアを自衛隊の前進活動拠点にしたいと考えているが、災害対策要員として町の総務課からの職員派遣が必要となると考えられる。

##### 前進活動拠点：

活動現場近くの、現場指揮本部の設置、部隊の集結、一時的な野営等を行う拠点。

- ・避難者の移送が必要となった場合等には、現地で必要な支援等を確認・調整できる体制を整えなければならないことから、関係機関が道の駅エリアに集まることを考えていただきたい。
- ・大規模災害時には広域的な対応として各自治体や自衛隊等の連携が必要であり、道の駅に付加すべき防災機能についても関係機関における協議が必要ではないか。
- ・激甚災害を想定し、連絡網には国の機関も入れておくことが必要。
- ・災害ボランティアの受け入れについても検討が必要でないか。

#### 【観光に関する取組について】

- ・下北半島の一体的な観光に関する取組を推進するために、新たに立ち上げを検討している協議会と下北観光協議会の連携が有効である。
- ・インバウンド（訪日外国人）に対するPRについても、いずれかの施策のなかに取り込んでよいのではないか。

#### 【三保野公園の活用について】

- ・道の駅と一体となった三保野公園の活用について、体験型防災訓練の場等としての活用が考えられるのではないか。
- ・高齢者のスポーツでは現在グランドゴルフが最も人気で、来年度からは国体の種目になる。三保の公園にグランドゴルフのコースを設置できないか。

#### 【事業主体となる立場で施策を検討する組織(協議会)について】

- ・ソフト施策の運営には様々な関係団体が関与しているため、協議会の立ち上げが必須。
- ・どこにでもありそうな協議会ではなく、道の駅が生き残るために必要な会として位置づけ、取り組んでいく必要がある。また、有識者や学生等の外部も取り入れるべき。
- ・町の将来像に関する議論も必要であるため、協議会メンバーには、若者、女性、場合によっては移住者等を入れて取り組んでいただきたい。
- ・10年後、20年後を見据え、どうしたら横浜町が元気な町でいれるのか、何が重要なのかを考えて、構成員の検討をしていただきたい。
- ・ソフト施策に連動して、ハード計画を修正・調整できる場を設けていただきたい。

#### 【今後の検討について】

- ・自立した安定財源確保のため、自前のエネルギー確保を行っている事例もあるので、そういったチャンネルも残しておいたらどうか。
- ・まち・ひと・しごと創生本部の推計データベースでは、それなりの人口流入もあることがわかることから、移住者（Iターン、Uターン）の実態把握、協力も必要でないか。

以上